

○北九州 PCB 処理事業所 (平成 30 年 3 月 19 日現在)

要素	調査項目	結果	環境基準等 (参考)	頻度 (モニタリング計画)
大気	PCB	最大値 0.00021 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 最小値 0.00013 "	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下*1	年 4 回
	ダイオキシン類	最大値 0.11 pg-TEQ/ m^3 最小値 0.016 "	0.6 pg-TEQ/ m^3 以下	年 4 回
	ベンゼン	最大値 0.010 mg/m^3 最小値 0.0013 "	0.012 mg/m^3 以下*2	年 4 回
水質 (海水)	PCB	不検出(<0.0005 mg/l)	検出されないこと (<0.0005 mg/l)	年 4 回
	ダイオキシン類	最大値 0.068 pg-TEQ/ l 最小値 0.056 "	1 pg-TEQ/ l 以下	年 4 回
地下水	PCB	不検出(<0.0005 mg/l)	検出されないこと (<0.0005 mg/l)	年 1 回
	ダイオキシン類	0.057 pg-TEQ/ l	1pg-TEQ/ l 以下	年 1 回
土壌	PCB(溶出試験)	不検出(<0.0005 mg/l)	検出されないこと (<0.0005 mg/l)	年 1 回
	ダイオキシン類	0.26 pg-TEQ/ g-dry	1000 pg-TEQ/ g-dry 以下	年 1 回
底質	PCB (溶出試験)	不検出(<0.0005 mg/l)	—	年 1 回
	(成分試験)	不検出(<0.05 $\text{mg}/\text{kg-dry}$)	10 $\text{mg}/\text{kg-dry}$ 未満	年 1 回
	ダイオキシン類	6.5 pg-TEQ/ g-dry	150pg-TEQ/ g-dry 以下	年 1 回
生物*3	PCB	14000 pg / g-wet	—	年 1 回
	ダイオキシン類	0.47 pg-TEQ/ g-wet	—	年 1 回

(注) *1: 「PCBを焼却する場合における排ガス中の PCB 暫定排出許容限界について(S47.12.22 環境庁大気保全局長通知)」で示される環境中の PCB 濃度。

*2: 工業専用地域については、環境基準は設定されていないため北九州 PCB 産業廃棄物処理施設(1期)に係る生活環境影響調査の結果により、当社が環境保全目標値として定めた値。

*3: カメノテ

○豊田 PCB 処理事業所 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月末現在)

要素	調査項目	結果 (※)	環境基準値等 (参考)
大気	PCB	0.0038 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	年平均 0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	ダイオキシン類	0.019pg-TEQ/ m^3	年平均 0.6pg-TEQ/ m^3
	ベンゼン	0.0012 mg/m^3	年平均 0.003 mg/m^3
土壌	PCB	不検出(<0.0005 mg/L)	検出されないこと (<0.0005 mg/L)
	ダイオキシン類	1.5pg-TEQ/ g	1,000pg-TEQ/ g
地下水	PCB	不検出(<0.0005 mg/L)	検出されないこと (<0.0005 mg/L)
	ダイオキシン類	0.041pg-TEQ/ L	1pg-TEQ/ L

※大気については、年平均を表示。土壌と地下水については、最大値を表示。

○東京 PCB 処理事業所（測定期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	環境基準 (*1) (参考)	測定頻度 (モニタリング計画上)
大気 (敷地境界)	P C B	南東端 0.00005mg/m ³ 未満	0.0005mg/m ³	年 1 回*2
		北西端 0.00005mg/m ³ 未満		
	ダイオキシン類	南東端 0.14pg-TEQ/m ³	年平均 0.6 以下 0.13pg-TEQ/m ³	年 1 回*2
		北西端 0.57pg-TEQ/m ³		

*1 PCB の環境基準：環境庁大気保全局長通達(昭和 47 年環大気 141 号)

*2 環境保全協定書における測定頻度は年 1 回。現在自主測定として 4 回実施している。

○大阪 PCB 処理事業所（測定期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

	項目	単位	事業所敷地内	事業所周辺*	環境基準値等 (参考)
春	PCB	mg/m ³	0.00000043	0.00000030	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.010	0.010	0.6
	ベンゼン	mg/Nm ³	0.0011	0.0011	0.003
夏	PCB	mg/m ³	0.00000040	0.00000037	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.011	0.013	0.6
	ベンゼン	mg/Nm ³	0.00063	0.00064	0.003
秋	PCB	mg/m ³	0.00000042	0.00000028	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.012	0.012	0.6
	ベンゼン	mg/Nm ³	0.0014	0.0014	0.003
冬	PCB	mg/m ³	0.00000028	0.00000024	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.020	0.020	0.6
	ベンゼン	mg/Nm ³	0.0015	0.0015	0.003
平均	PCB	mg/m ³	0.00000038	0.00000030	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.013	0.014	0.6
	ベンゼン	mg/Nm ³	0.071	0.061	0.003

*：事業所南側に位置する大阪ガス舞洲営業技術センター敷地内。

○北海道 PCB 処理事業所（JESCO 実施分・平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 1 日判明分）

要素	調査項目	結果（最大値等）	環境基準値等 (参考)	測定頻度
大気	PCB	敷地境界東側南端 150pg/m ³	500,000pg/m ³	年 4 回
		処理情報センター 160pg/m ³		
	ダイオキシン類	敷地境界東側南端 0.0046pg-TEQ/Nm ³	0.6pg-TEQ/Nm ³	
		処理情報センター 0.0043pg-TEQ/Nm ³		
	ベンゼン	敷地境界東側南端 0.80μg/m ³	3μg/m ³	
		処理情報センター 0.74μg/m ³		
水質	PCB	雨水幹線排水路合流前 2,800pg/l	500,000pg/l	年 6 回
	ダイオキシン類	雨水幹線排水路合流前 0.088pg-TEQ/l	1pg-TEQ/l	
底質	PCB	雨水幹線排水路上流 21,000pg/g	10,000,000pg/g	年 1 回
		雨水幹線排水路下流 18,000pg/g		
	ダイオキシン類	雨水幹線排水路上流 2.9pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g 以下	
		雨水幹線排水路下流 3.3pg-TEQ/g		